

令和7年度徳地地域スクールバス（河内－堀線）運行業務委託仕様書

1 業務委託内容

(1) 実施場所 徳地地域 柚野、八坂、出雲地区

(2) 業務内容

徳地中学校の生徒の輸送

旧柚野中学校通学区域及び旧八坂中学校通学区域（北谷、中村、上野谷、下野谷）から徳地中学校に通学する生徒を輸送する。発着場所は徳地中学校正門付近とする。

※乗降場所の詳細についてはスクールバス路線図（別紙）参照のこと。

(3) 対象生徒数 計7名（徳地中学校生徒7名）

※生徒の転出入により人数の増減と路線内の乗降場所の変更を伴う。

(4) 輸送車両 使用する車両は、乗車定員10人以上（乗務員を含む）とする。

(5) 運行便数・時刻

登校便1便、下校便1～2便を基本とし、時刻は下表のとおりとする。ただし、便数及び時刻は学校行事等により変更する場合がある（事前の通知による）。

ア 平日（長期休業中を除く）

区分	発着場所	発着時刻	備考
登校便	徳地中学校正門付近 着	8:00 着	
下校便1	徳地中学校正門付近 発	15:00 発	水
下校便1	徳地中学校正門付近 発	16:15 発	月・火・木・金 ※部活なし生徒
下校便2	徳地中学校正門付近 発	17:15 発	月 ※部活あり生徒
下校便2	徳地中学校正門付近 発	18:15 発	火・木・金（4月～1学期末） ※部活あり生徒
〃	徳地中学校正門付近 発	17:45 発	火・木・金（運動会後～県新人戦） ※部活あり生徒
〃	徳地中学校正門付近 発	17:15 発	火・木・金（県新人戦後～1月末） ※部活あり生徒
〃	徳地中学校正門付近 発	17:30 発	火・木・金（2月）※部活あり生徒
〃	徳地中学校正門付近 発	18:00 発	火・木・金（3月）※部活あり生徒

イ 土日祝日、長期休業期間

区分	発着場所	発着時刻	備考
登校便	徳地中学校正門付近 着	9:00 着	
下校便1	〃 発	11:15 発	部活動等がある日

(6) 年間予定日数及び年間予定便数

ア 年間予定日数 291日

イ 年間予定便数 730便

※参考資料：「スクールバス運行スケジュール 各校希望調査結果」…別紙

ただし、同調査結果の便数は各校における見込みのため、年間予定便数（これまでの運行実績等を基に設定）とは異なる場合がある（調査結果の便数は需要量ではない）。

(7) その他業務・運行に関すること

- ア 道路運送車両の保安規準により、輸送車両の車体の前面、後面及び両側面には、スクールバスの表示を行うこと。また、助手席のフロントガラス上部には路線名を表示すること。
- イ 安全な運行を努めること。また、冬季は冬用タイヤ・チェーンなど必要な装備の準備をすること。
- ウ 業務実施に際しては、事故等における対応（保険・賠償責任等）に万全を期すること。
- エ 対象生徒の数に対して、十分な座席の車両を確保すること。
- オ 業務中も随時事務所と連絡が取れる体制を整備すること。
- カ 月毎の実績報告書を作成し、翌月速やかに教育委員会及び学校へ提出すること。

(8) 生徒の置き去り防止対策

運転手は、登校及び下校時の運行後等、乗車生徒全員が降車した際に、バス内に取り残されている生徒の有無を必ず確認しなければならない。なお、座席が3列以上となる車両については、国土交通省ガイドラインに定める性能基準を満たす事故防止安全管理装置を運行業務開始前までに備え、適切に運用すること。

2 委託料の支払及び精算

- (1) 委託料の支払は、契約額を2で除し、前期・後期の2回に分けて概算払いする。支払額が1円未満の端数となった場合、その端数は後期分で支払う。
- (2) 受託業者は業務完了後、速やかに年間の運行実績を報告する。その際、実績便数が年間予定便数を超過した場合は、計算式で不足額を算出し、これを支払うものとする。
不足額＝（年間予定便数を超過した便数）× （契約額）÷（年間予定便数）
注）下線部において1円未満切捨て
- (3) 運行路線の見直しや長期休校等その他事由により、大幅な便数の増減、運行体制の変更等、委託業務内容に変更が生じる場合は、その都度別途協議する。